

ハダカイワシ類の分布を調べるための 世界初のデータベース

水産情報工学部

研究の背景・目的

1. ハダカイワシ類は、表層から 1000m 以深まで広く分布し、生物量もたいへんに多いため、海の物質循環の中では重要な役割を果たしている。
2. ハダカイワシ類の生態を明らかにしていくには、これまで蓄えられてきた調査資料を一括して管理、また分析できるシステムを作る必要がある。

研究成果

1. 中層トロール網調査の資料と、関連する文献などを利用して、リレーショナルデータベースを作った。
2. 深度、水温、および塩分などの環境条件から、その環境に分布する可能性があるハダカイワシの種類を推定できるようになった。

波及効果

1. データの登録・削除・編集が手早くできるため、ほかの魚類のデータベースも簡単に作れる。
2. 誰もがこのデータベースを利用できるよう、フリーのソフトウェアとして公開を予定している。

データベースの構造

魚種	水深範囲	平均DIN	平均DIP	平均DIN:P
1. トコハダカ	表層	20.1	1.99	
2. ココウハダカ	表層	16.0	0.92	
3. オコウハダカ	表層	19.9	0.98	
4. ナガハダカ	表層	20.2	0.81	
5. スズキハダカ	表層	12.2	0.21	
6. スズキハダカ	表層	11.9	0.26	
7. オコウハダカ	表層	7.5	0.04	
8. ココウハダカ	表層	4.4	0.04	
9. オコウハダカ	表層	4.2	0.04	
10. ココウハダカ	表層	3.2	0.02	
11. ナガハダカ	表層	1.6	0.01	
12. ナガハダカ	表層	1.6	0.01	
13. ナガハダカ	表層	0.2	0.00	
14. ナガハダカ	表層	0.2	0.00	
15. ナガハダカ	表層	0.2	0.00	
16. ナガハダカ	表層	0.0	0.00	

検索条件の設定画面

検索結果: 一覧表

検索結果: 魚種の写真・説明

検索結果: 分布図

(上席研究員・渡辺一俊; 遠洋水産研究所・一井太郎, 渡邊光; 中央水産研究所・杉崎宏哉)